

訪問研修についてのQ&A

Q：保育を見られるとなると、構えてしまって負担に感じます。指導案もしっかり書かなくてははいけませんか。

A：日頃の保育をもとに研修を行い、日頃の保育を改善していくことが大切ですので、いつも通りの保育を参観させてください。また指導案（保育活動案）は、希望される園・所のみ作成してください。

Q：0～2歳児の保育を見てもらうことは可能ですか。

A：可能です。全年齢を対象としています。

Q：研修会は何分くらいで、誰が進めるのですか。

A：これまでの例では、1時間～2時間程度で、司会は園・所の方がされる場合が多いです。

Q：毎年希望しても構わないのですか。

A：構いません。

Q：年間2回以上の訪問研修は可能ですか。

A：可能です。事前にご相談ください。申し込みフォーム【9】訪問に関する要望等に「継続訪問希望」と入力していただければ、センターから連絡いたします。



Q：研修会で助言をするアドバイザーや推進リーダーはどのような人ですか。

A：幼児教育の豊富な実践経験を有する園・所長、副園・所長、主任等、もしくはその経験者です。

Q：研修会に園・所の保育者が多く参加できなくてもよいですか。

A：参加可能な方で構いません。

研修会に参加できない方も、「保育だけ参観する」「前日の保育を見て付箋を通して参加する」など、研修方法の工夫をしている園・所もありますので、参考にしてください。

Q：特別な配慮を要する子どもへの関わり方等も話題にできますか。

A：特別支援教育について専門性の高い方（小中学校巡回指導員）と連携を図り、特別な配慮を要する子どもへの関わり方やインクルーシブ教育を課題としている園・所の訪問に同行することができます。希望があれば、申し込みフォーム【9】訪問に関する要望等に入力してください。



